



古賀市ワンヘルス推進宣言

新型コロナウイルス感染症や鳥インフルエンザをはじめとする「人獣共通感染症」は、今や人の感染症の約6割を占め、人と動物双方の健康を脅かしています。世界の急激な人口増加を背景とする現代では、人類の経済活動が地球全体に負荷をかけ生態系を破壊する「人新世」、すなわち環境危機の時代と言われており、気候変動などが引き起こされるとともに人と動物の生存領域が変化し、動物が持つ病原体が人にも感染するようになったとされています。

このような状況から、人と動物の健康、環境の健全性は一つのものとするワンヘルスの理念のもとに、行政や市民、関係機関等の一体的な取組としての期待は高まっています。

福岡県では、全国に先駆けて「福岡県ワンヘルス推進基本条例」を制定し、人と動物の健康、環境の健全性を一体的に守るための6つの課題への取組を始めました。

本市においても、市民の皆様とともに生物多様性の保全やペットの適正飼養の推進、地域猫活動の支援など、ワンヘルスにつながる様々な取組を進めてまいりましたが、今後は福岡県とも連携を密にしながらワンヘルス実践を着実に進め、未来への責任を果たすべく持続可能な社会をつくり、次世代に継承していきたいと考えます。

本市における環境保全や人と動物の共生社会づくり、自然や動物とのふれあいを通じた健康づくり、自然と調和した産業の振興等に向けた活動を、ワンヘルスの理念のもとに全市を挙げて取り組んでいくことを決意し、ここにワンヘルスの推進を宣言します。

令和5年3月18日

古賀市長

田辺一城